



校長室だより

令和3年度

12月17日

NO. 7

『学び合い』の授業

2学期も無事に終了できそうです。10月に緊急事態宣言が解除された後、ほぼ通常の学校生活を取り戻すことができました。学芸会や修学旅行をはじめとする各種行事も予定通り開催することができ、子供たちの活躍する姿を様々な場面で見ることができてうれしく思っています。

10月以降、授業改善についても積極的に取り組みました。今年度の本校の研究テーマは、『学び合い』の授業の充実です。

11月2日には、元岡崎市教育委員会教育長の江村先生が、「秦梨小の授業をぜひ見せてほしい」と言われ、本校にお越しくださいました。当日は、6年生の授業と2年生と4年生の異学年合同『学び合い』の授業をご覧くださいことにしましたが、子供たちが主体的に学習に取り組む様子を褒めてくださり、「これからの授業はこうありたい」と評価してくださいました。

その後も、11日には常磐南小の先生方が、本校の授業づくりについて勉強に来られたり、25日には、算数・数学の指導員訪問があったりしましたが、いずれも本校の授業改善の取組や学びに向かう子供たちの姿を褒めてくださいました。

そして、12月7日には、信州大学の三崎隆先生を講師にオンラインによる授業研究会を行いました。研究授業は、4、5年生の異学年合同『学び合い』の授業です。三崎先生には、的確なご助言をいただき、勉強になったと喜んでます。

以下は、翌日（12月8日）の三崎先生のブログの一部です。



昨日はオンラインによる『学び合い』学校の研究授業に参加させていただきました。それも、異学年『学び合い』です。素晴らしい子どもたちに出会うことができ本当に幸せ者です。彼らの学びに向かう思考力、判断力、集中力、行動力の秀逸さが一層際立っていて秀逸です。明朗さ、快活さ、礼儀正しさ、協調性、同僚性、どれをとっても秀逸です。私にとっては、どの子どもたちが上学年でどの子どもたちが下学年なのか分からないので、入り乱れてわいわいがやがやの文脈になっていることが、とても素敵で魅力的に感じました。見とれてしまって惚れ惚れしました。日本一の異学年『学び合い』学校と言えます。（後略）

へも積極的にチャレンジしています。他学年と学びの場を共有することで、互いにとってよい影響があり、相乗効果が生まれると考えられるからです。小規模の本校は、物理的に実践しやすい環境にあることも幸いしています。実際に子供たちが真摯に課題解決に向き合う姿を三崎先生に高く評価していただき、大きな励みになりました。

ところで、11月末に2年生から6年生、44名を対象に『学び合い』の授業について、アンケートを取りました。結果は次の通りです。

- 『学び合い』の授業は好きか？<① 37 ② 7>
- 授業中、自分から友達に教えるにこうしているか？<① 26 ② 17 ③ 1>
- 授業中分からないときに、自分から聞きに行くようにしているか？<① 30 ② 14>
- 授業の内容は分かるか？<① 31 ② 12 ③ 1>
- 『学び合い』の学習は、自分たちの学習に役立っていると思うか？<① 38 ② 6>
- 授業以外でも友達とかかわることができるか？<① 37 ② 7>

※ 回答選択肢

- ① そう思う
- ② どちらと言えばそう思う
- ③ どちらと言えばそう思わない
- ④ そう思わない

『学び合い』の考え方は、私たちがこれまで受けてきた授業とはずいぶん違います。端的に言えば、「子供たちは、教えなければできない」という考え方から、「学習環境を適切に整えてやれば、子供たちは自らの力で課題を解決できる」という考え方への転換です。

私たちが『学び合い』を実践していく上で常に意識しているのは、子供たちが解決すべき課題が学習指導要領で求められている学力に沿ったものであるか、ということです。課題解決をすることで、子供たちに確かな学力が身につく授業にしなければならぬからです。そのために教師は、一時間一時間の授業の課題づくり（問題づくり）にかなりのエネルギーを注いでいます。それから子供たちの授業への意識（実態）も重要です。定期的に「授業アンケート」も行い、意識・実態の把握に努めています。そして、学力テストの結果やアンケート結果等を日々の授業改善に生かそうと努めています。

なぜ、本校が『学び合い』の授業づくりに取り組むか。それは、「自分で考え、判断し行動できる人を育てるためです。30年後を見据えて、秦梨の子供たちが「真に自立した大人になってほしい」。そんな願いを抱き、私たちは、授業づくりを核とした秦梨教育の充実に取り組んでいます。

一昨日、宮崎小学校の校長先生から「授業を見させてほしい」と電話があり、普段の授業でいいのなら、ということで、20日の月曜日に6年生の算数と5、6年生の理科の合同授業を見てもらうことになりました。

今後も授業づくりを充実させたいと思っています。

